7. オプション

7-1. 使用環境オプション

■共通仕様

使用環境要素	標準仕様：○ オプション：□	設置場所		仕様	
水	○	屋内	水がかからない場所	屋内形（保護等級 IP44）	
	□	屋外	少量の雨水がかかる場所	屋外形（保護等級 IP44）	
			露天環境で強い風雨を直接受ける場所	耐暴風雨屋外形（保護等級 IP55）	
腐食	○	腐食性物質やガスがない場所		標準	
	□	若干の腐食性物質や蒸気が存在する場所		ボルト材質ステンレス	
				銘板材質ステンレス	
		中程度の腐食性物質や蒸気が存在する場所		2 種防食形（保護等級 IP44）	
粉塵	○	塵埃が少ない場所		標準	
	□	塵埃または粉塵のある場所		防塵形（保護等級 IP54）	
爆発性ガス	○	爆発性ガスがない場所		標準	
	□	爆発性ガスに引火爆発する危険がある場所		トルクリミッタ部	本質安全防爆構造（i3nG5）
				モータ部	耐圧防爆形（d2G4）

注）上記以外の使用環境に対しては、ご照会ください。

■塗装

素地調整の程度	塗装の種類		塗装日数	塗装仕様			耐候性	耐没水性	耐油性	耐酸性	耐アルカリ	耐熱性℃	用途
	分類 標準仕様：○ オプション：□	塗装系		塗装	回数 合計膜厚 注）10 （Total μ m）	一般名称							
鋳物… 1 種ケレン 鋼板・アルミ 2 種ケレン	○ 標準塗装	フタル酸系	0	下塗り	1 注）7 （約 0 ～ 40）	変性エポキシ樹脂	○	×	△	○	×	100	標準的な用途
				上塗り	1 （約 20 ～ 30）	アクリル系 アルキド樹脂							
	□ 輸出標準塗装	フタル酸系	2	下塗り	2 （約 30 ～ 60）	変性エポキシ樹脂	○	×	△	○	×	100	主に輸出用
				上塗り	1 （約 20 ～ 30）	アクリル系 アルキド樹脂							
	□ 防食塗装	ポリウレタン系	6	下塗り	1 （約 20 ～ 40）	変性エポキシ樹脂	◎	△	○	○	○	100	中程度の腐食環境 蒸気が存在する場所
				上塗り	2 （約 30 ～ 60）	ポリイソシアネイト系 ウレタン樹脂塗料							
		フェノール系	7	下塗り	2 （約 40 ～ 70）	錆び止めペイント	○	×	△	○	○	100	中程度の腐食環境 酸を使用する工場
				上塗り	2 （約 30 ～ 60）	フェノール樹脂エナメル							
	□ 重防食塗装	エポキシ系	10	下塗り	1 （約 50 ～ 60）	特殊浸透性エポキシ アルミ塗料	※ ○	◎	◎	◎	◎	150	重度の腐食環境 酸を使用する工場
				上塗り	3 （約 30 ～ 90）	ポリアミド系 エポキシ樹脂							
		ポリウレタン系	7	下塗り	1 （約 70）	特殊浸透性エポキシ アルミ塗料	◎	◎	◎	◎	◎	150	重度の腐食環境 水がかかる場所 海岸設置・船上設置 酸を使用する工場
				上塗り	2 （約 70 ～ 100）	ポリイソシアネイト系 ウレタン樹脂塗料							
サンドブラスト指示が必要	□ 重防食塗装	厚膜エポキシ系	16		5 （約 250 ～ 350）	厚膜型変性 エポキシ樹脂塗料	◎	◎	◎	◎	◎	150	水中機器 海洋構造物

注）1. 塗装日数とは、特殊塗装の場合、標準塗装に比べてどれだけ余分に日数を要するかを示します。
2. 特殊塗装色の場合は、塗装仕様が変更になる場合があります。
3. ※印は太陽光線による退色があるので注意を要します。
4. 耐熱性について：周囲温度に依り上表を超える場合、検討を要します。
（上表の耐熱温度は塗料のみの耐熱温度であって、減速機の耐熱温度ではありません。）
5. 常温と低温を短時間で繰り返す使用条件の場合は、ご照会ください。
6. 厚膜エポキシ系重防食塗装は、塗装色が限定されます。黒色および7.5GY6/2は問題ありませんが、これ以外の塗装色は都度ご照会ください。
（当社標準の塗装色ドナウブルーは塗装できませんので、ご注意ください。）
7. 標準塗装の下塗は、部品によっては省略しています。
8. 長油性フタル酸系をご希望の場合は、同等のフェノール系をご指定ください。
9. 塗装の種類は上塗り塗料のタイプによって分類しており、これに対する下塗り・中塗りは弊社独自の設定をしています。お客様によっては同じ塗料系の名称で、これと異なる組合せを基準化している場合もありますので、その際は特殊塗装として対応いたします。
10. 表中の合計膜圧は保証値ではなく参考値のため、バラつきが生じる場合があります。また膜圧は製品表面の平面部におけるもので、狭部や複雑形状部は除きます。